

授業科目名(英文名)	インターンシップB (Internship B)
担当者名	廣田 篤彦
学年	1
教科書	なし
目的または到達目標	<p>建築家・建築技術者として建築設計を行うにあたって、建築物の設計又は工事監理に係わる実践的な能力を培う。</p> <p>建築構造設計に係わる業務の学習を主たる課題とする。</p> <p>実習先は、構造設計事務所または工務店・ゼネコン等の構造設計部門とし、インターンシップAでの体験と比して、意匠設計と構造設計の業務の違いを理解する。</p> <p>指導は現場で実務に携わる建築士が行う。</p>
授業内容	<p>I 建築構造設計業務の学習 (第1日目～第5日目 :8時間/日)</p> <p>1. 構造設計・意匠設計・設備設計の関係と構造設計業務の学習</p> <p>2. 構造設計者の監理業務のあり方の学習</p> <p>II 建築構造設計の計画実務に関する学習 (第6日目～第10日目 :8時間/日)</p> <p>1. 構造計画に対応した意匠設計・設備設計の考え方の学習</p> <p>2. 構造設計の法的根拠の学習</p> <p>III 建築構造設計の実務に関する学習 (第11日目～第15日目 :8時間/日)</p> <p>1. 構造計算の実践的学習</p> <p>2. 構造図作成の学習</p> <p>IV 建築構造の現場監理業務の学習 (第16日目～第20日目 :8時間/日)</p> <p>1. 工事現場の工程会議に参席し、施工管理と設計・工事監理の業務内容を学習する。</p> <p>2. 設計者として、現場における工事監理業務を学習する。</p> <p><ガイダンス・報告会等を除く実時間 計160時間></p>
関連科目	インターンシップA、インターンシップC、インターンシップD
受講心得	実習先の指示に従うこと。無断で遅刻欠席をしないこと。身だしなみや言葉遣いに留意すること。
課題・質問等の受付方法	随時
授業の形式	学外実習です。
履修上の注意または履修条件	<p>建築学科を卒業した者のみを対象とします。</p> <p>実習開始後に履修を中止することはできません。</p> <p>一級建築士試験の実務経験要件を、事前に確認の上、受講して下さい。</p>
成績評価の方法	<p>規程時間の実務及びレポートの作成を必須とします。</p> <p>実習先の表を基に、上記条件の充足率などを考慮して、総合的に評価を行います。</p>
参考文献及び指定図書	申し込み時に配布される受講の手引きを参照のこと。